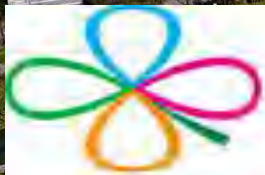


活動報告

甲州リハビリテーション病院
山梨県高次脳機能障害者支援センター

岩間 英輝 (支援コーディネーター)
三澤 知恵 (臨床心理士)
平原由梨子 (作業療法士)



甲州リハビリテーショングループ
KOSHU REHABILITATION GROUP

私たちは、地域リハビリテーションを実践するグループです。
理念：「心をこめ、保健・医療・福祉で、地域に貢献」

当グループは、山梨県笛吹市を拠点として、医療法人銀門会、社会福祉法人寿ノ家、株式会社サンライフ寿、株式会社ケー・アール・ジーの4法人で構成されています。現在は、山梨県の各地でリハビリテーションを中心とした各事業を展開しています。

甲州リハビリテーション病院の施設概況

■病床数：186床

■診療科目：リハビリテーション科・外科・整形外科・脳神経外科
リウマチ科・内科・神経内科・循環器科・精神科・歯科

■施設基準等

入院料：回復期リハビリテーション病棟入院料Ⅰ

障害者施設等入院基本料、亜急性期入院医療管理料1

リハビリ：脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）

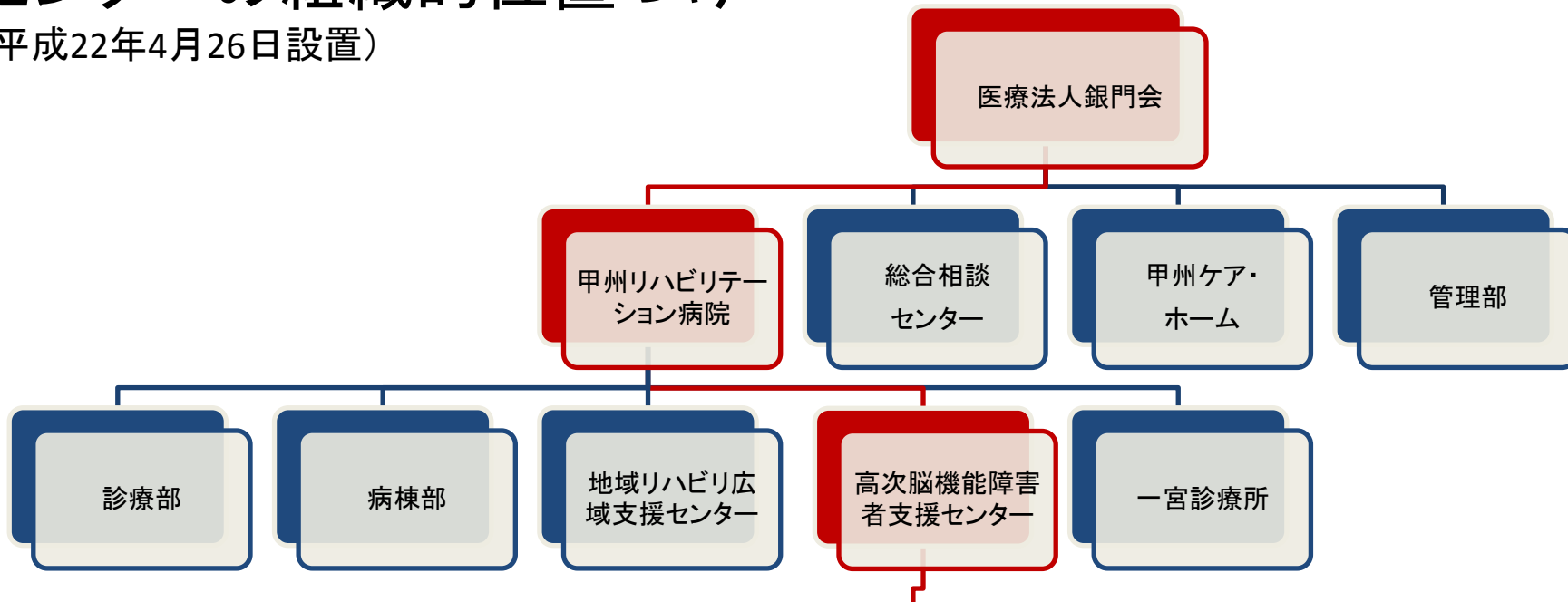
リハビリテーション充実加算、休日リハビリテーション提供加算

階	病床区分	機能区分	病床数
6階	—	リハビリテーション室 (理学療法・作業療法・言語聴覚療法)	—
5階	療養病床	回復期リハビリテーション病棟	45床
4階			46床
3階	一般病床		46床
2階		一般障害者施設等入院基本料2、亜急性期病棟	49床
1階	—	外来部門（検査、中央材料、歯科） 放射線部門・薬剤部門・管理部門 医療福祉相談室・高次脳機能障害者支援センター	—



センターの組織的位置づけ

(平成22年4月26日設置)



機能

- ◆ 相談支援
- ◆ 普及啓発
- ◆ 研修
- ◆ 地域支援ネットワークの充実

センター長: 医師(院長兼務)

支援Co: 専任 社会福祉士1名

- 医師: 常勤兼務(副院長 神経内科)
- 作業療法士: 常勤兼務3名、非常勤兼務1名
 - 言語聴覚士: 常勤兼務1名
 - 臨床心理士: 常勤兼務1名
- 社会福祉士: 常勤兼務1名
 - 看護師: 常勤兼務2名
- 総務担当: 常勤兼務2名
 - 医療技術支援担当

センターにおける個別支援の流れ

受付

- 他機関からの紹介、本人・家族からの電話

面接

- 支援コーディネーターによる面接

定例検討会

- 原則週1回開催
支援方法の検討

支援

- 定例面接による本人・家族支援
医師による専門相談 作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士等による支援
- 他機関との連絡調整

当事者(家族)・支援者間での
課題共有

スタッフ間での課題共有

センタースタッフ間の情報共有ツール

ミーティング

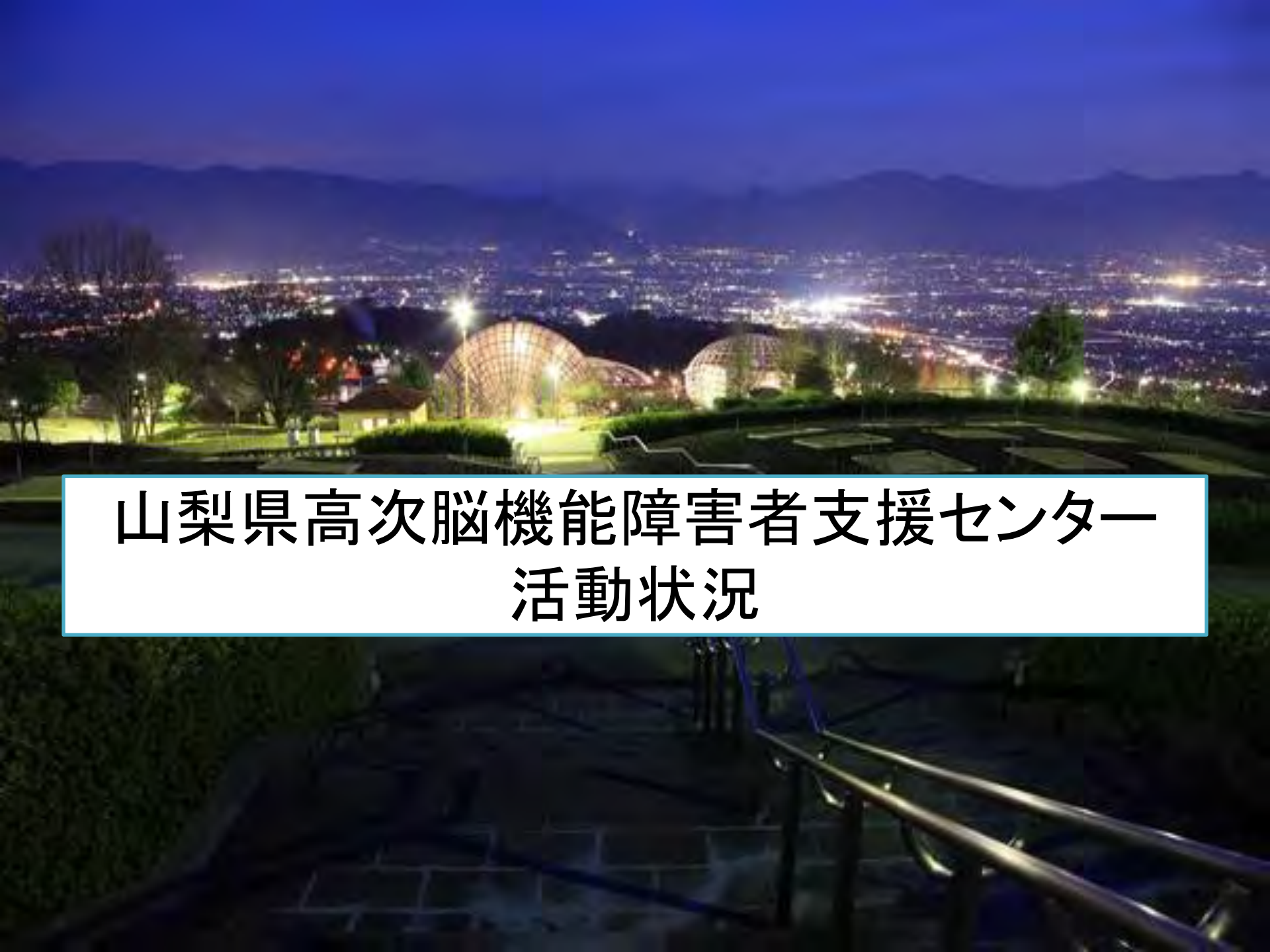
- 毎週月曜日 12:40~13:00
- 情報共有 確認等

定例会

- 毎月第2月曜 13:00~14:00
- 月例報告 進捗確認 その他

社内LAN

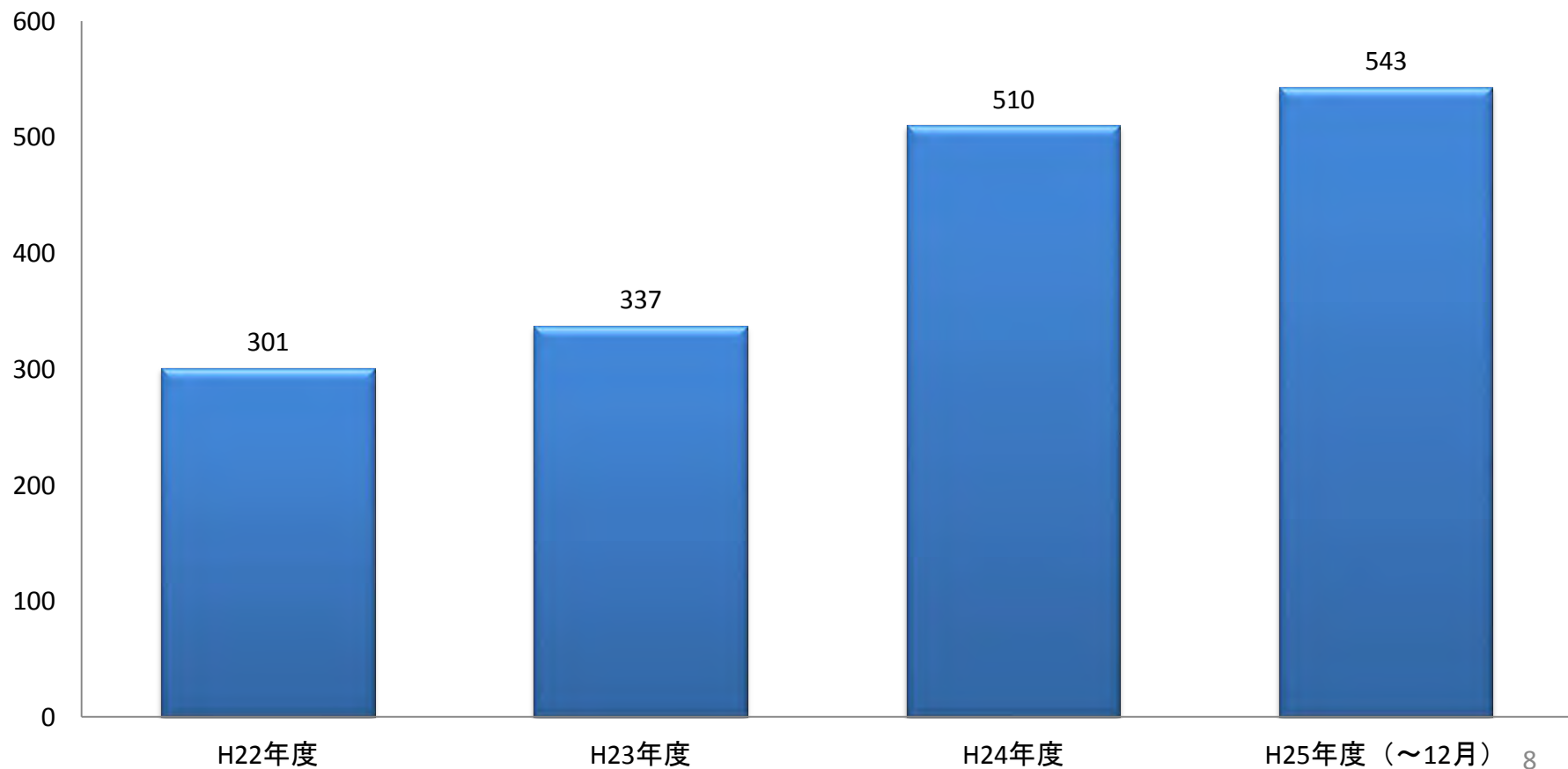
- センターメンバーすべてがアカウント取得
- 随時メールでの情報発信 相談

A nighttime photograph of a cityscape viewed from an elevated position. In the foreground, two large, illuminated geodesic domes are visible, likely part of a botanical or conservatory complex. The city lights are visible in the background, and mountains are silhouetted against the dark sky. A stone staircase with a metal railing is in the lower foreground.

山梨県高次脳機能障害者支援センター 活動状況

相談支援

相談のべ件数の推移



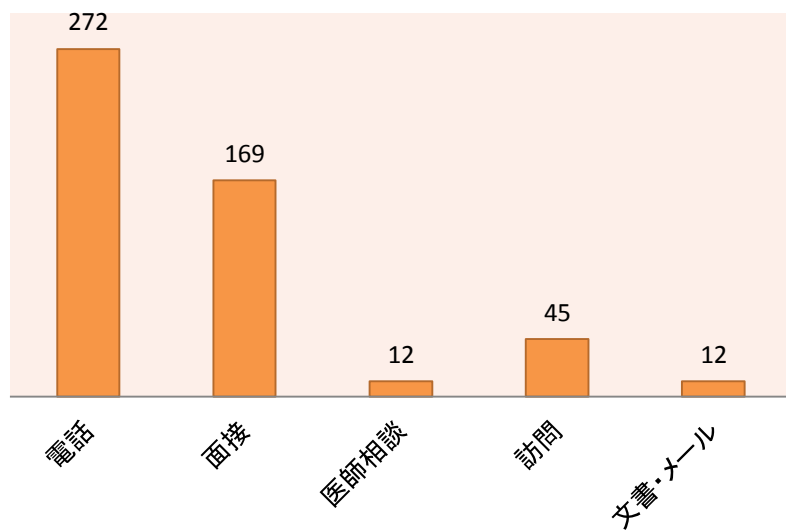
相談者の状況

のべ相談件数

平成24年度 のべ510件(+173件 前年比151%)

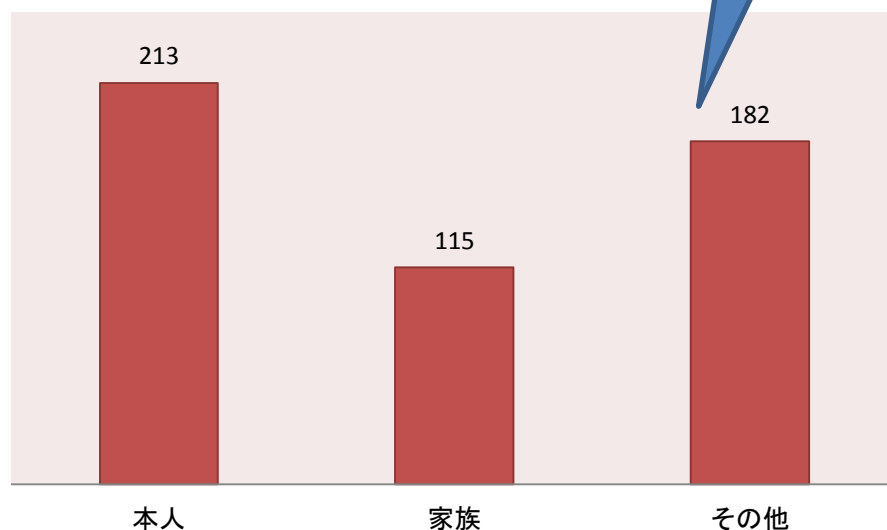
相談種別

■ H24

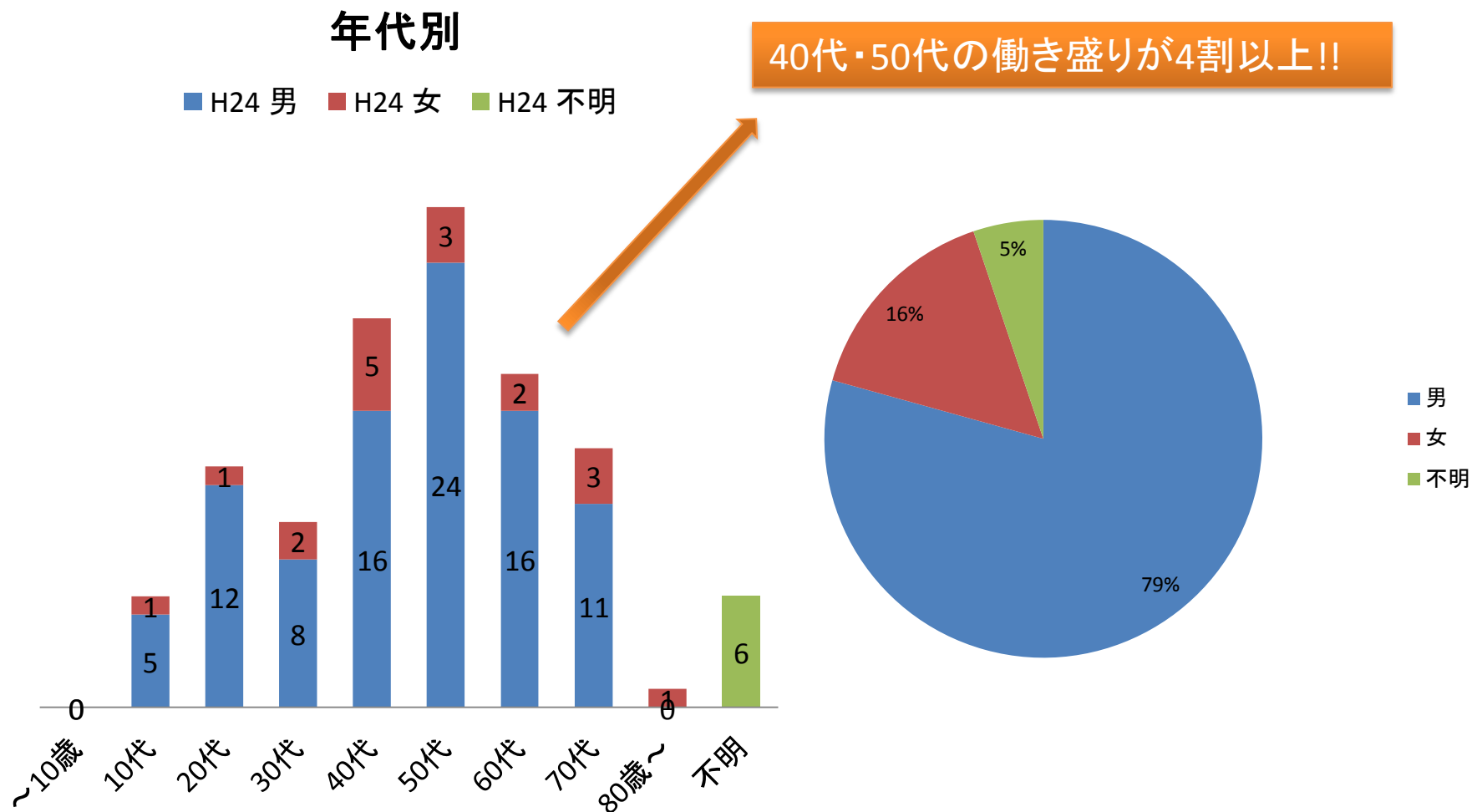


相談者:510件

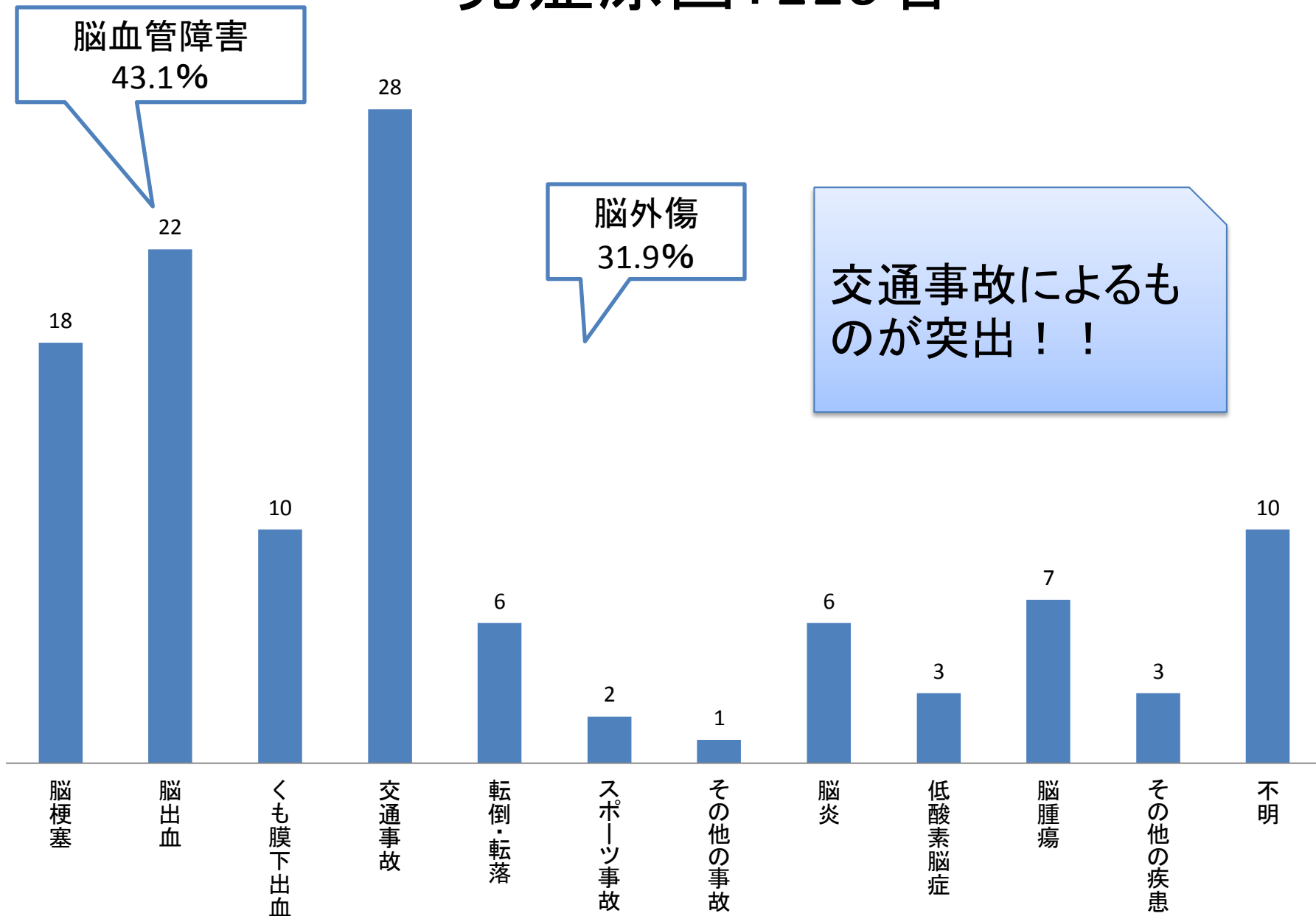
■ H24



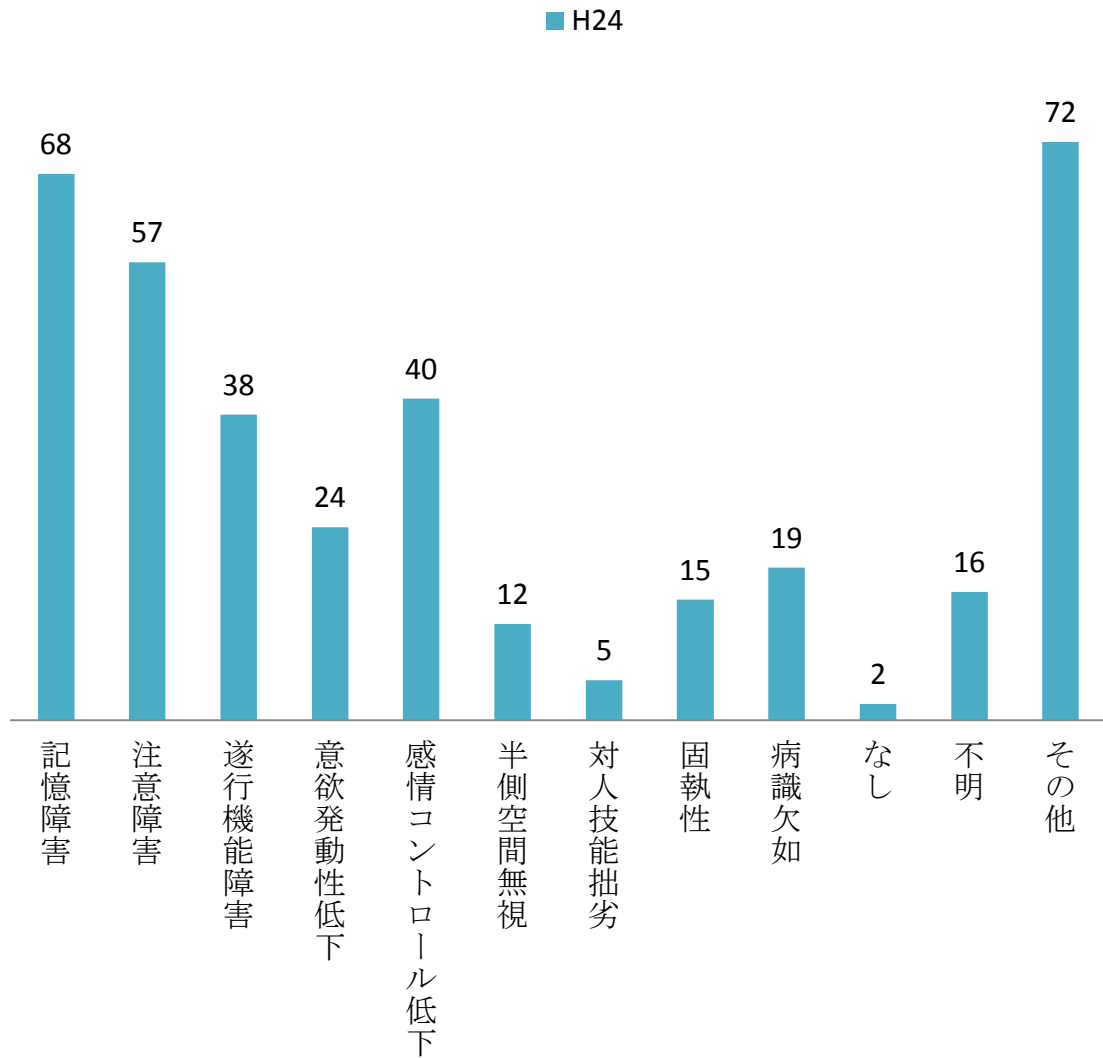
対象者(116名)の状況



発症原因: 116名



症状(重複あり)



他の障害を併せ持った方
62%

- ・盗癖
- ・虚言癖
- ・左半身麻痺
- ・右半身麻痺
- ・アルコール依存
- ・薬物依存
- ・視覚障害
- ・味覚、嗅覚なし
- ・失語(16)
- ・頸椎損傷
- ・顔面神経麻痺
- ・聴覚障害
- ・認知症
- ・統合失調症
- ・心疾患
- ・糖尿病
- ・てんかん

発症から相談までの経過期間

■ H24

発症早期からの相談が多くなってきた。
啓発活動に伴い、発症から相当期間経過した
方も多い。



【中北保健所峡北支所圏内】

南アルプス市9／北杜市3
韮崎市3

計15名

【中北保健所圏内】

甲府市23／甲斐市4
中央市4／昭和町2

計33名

【その他】

県外6
不明17

【峡東保健所圏内】

笛吹市16／甲州市4
山梨市4

計24名

【富士・東部保健所圏内】

富士河口湖町4
富士吉田市6
大月市4
都留市1
上野原市1
山中湖村0／丹波山村0
西桂町0／忍野村0
鳴沢村0／道志村0
小菅村0

計16名

【峡南保健所圏内】

市川三郷町1
富士川町2
南部町1
早川町0／身延町1

計5名



平成24年度
実人員(116名)の分布

普及啓発

- ・啓発活動

- ・パンフレットの配布 約6,000部

- ・ホームページの作成

- <http://www.krg.ne.jp/rehabili/koujinou.html>

- ・研修会の開催

- 圏域研修

- H24年度 4圏域(5回) のべ202名参加

- 県民一般向け研修

- H24年度 11月17日開催 参加者110名

平成24年度 研修会 開催状況

実施日	内 容	参加人数
	高次脳機能障害者支援センター研修会 1. 診断・評価～高次の脳ってなんだろう？認知症とは違うの？ 神経内科医 市瀬祐一 2. 症状の理解～「何か気になる」けれど、何をどうみたらいいの？ 作業療法士 平原由梨子 3. 生活しやすくする工夫 ～「メモが使えない」のはなぜ？工夫の仕方をご紹介 言語聴覚士 石原徳子 4. 相談支援で大切なこと～制度が使えるようにはなったけれど・・・ 社会福祉士 岩間英輝	
7/6	峡南圏域研修会(会場：峡南保健所)	27人
7/20	富士東部圏域研修会(会場：富士東部保健所)	25人
7/27	中北圏域研修会 (会場：中北保健所 峡北支所)	41人
8/10	中北圏域研修会 (会場：ぴゅあ総合)	57人
8/24	峡東圏域研修会(会場：峡東保健所)	52人
11/17	高次脳機能障害者支援センター講演会 「脳を活かし守る」 講師：松戸市病院事業管理者 植村研一 先生 会場：山梨県立大学 池田キャンパス 講堂	110名

支援手法に関する研修

- 専門職向けの研修
県内専門職(主にOT)を対象にした研修を開催
月1回開催(10回開催予定)
H24年度(支援手法)10回 のべ203名参加
- 関係団体への研修講師派遣
相談支援事業所、自立支援協議会、老人保健施設
協会、作業療法士会、施設内研修等

地域支援ネットワークの充実

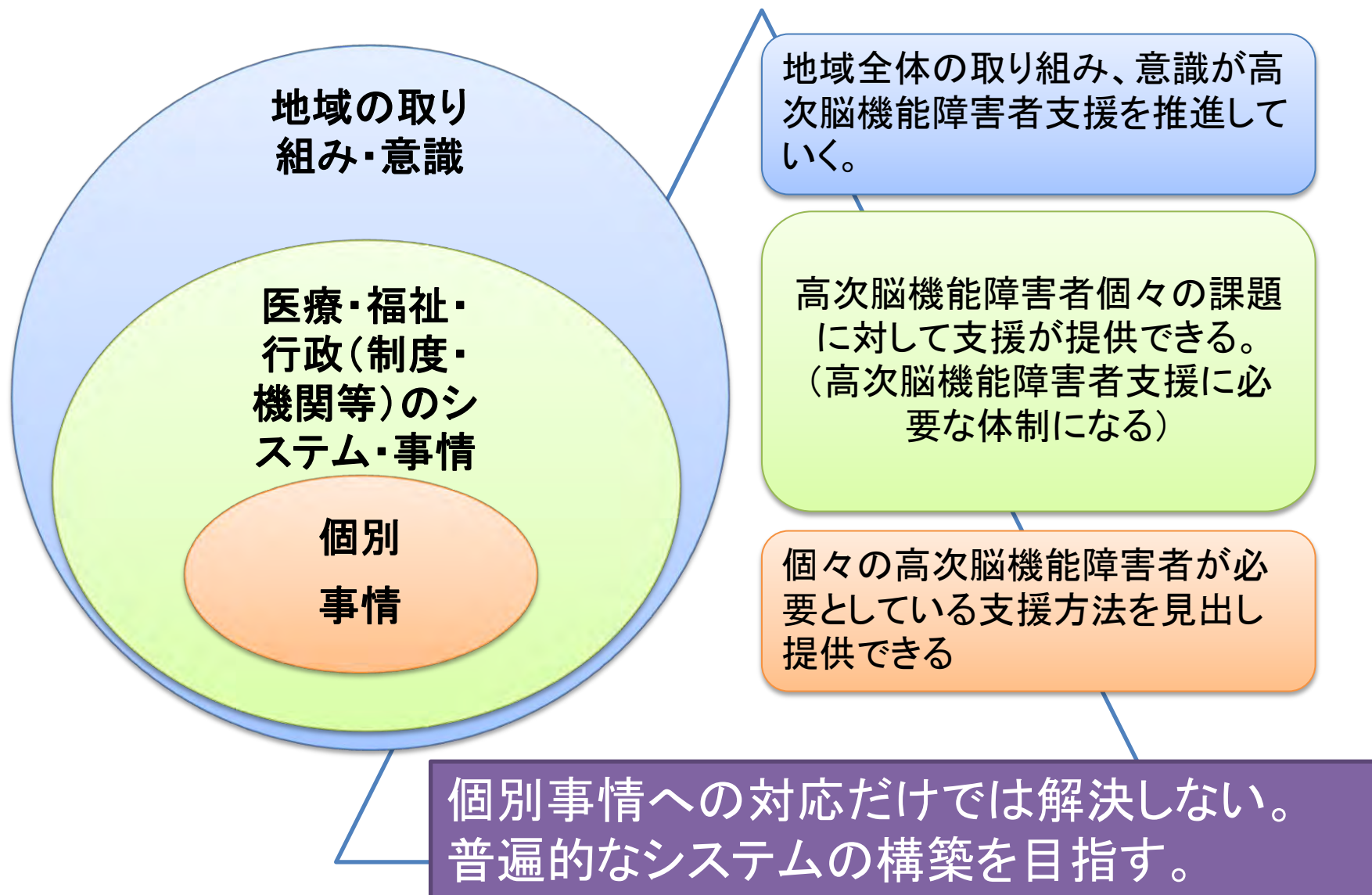
「既存のネットワークを活かし有効に活用する」

「普及啓発、研修、相談支援を通じ地域支援ネットワークの整備に取り組む」

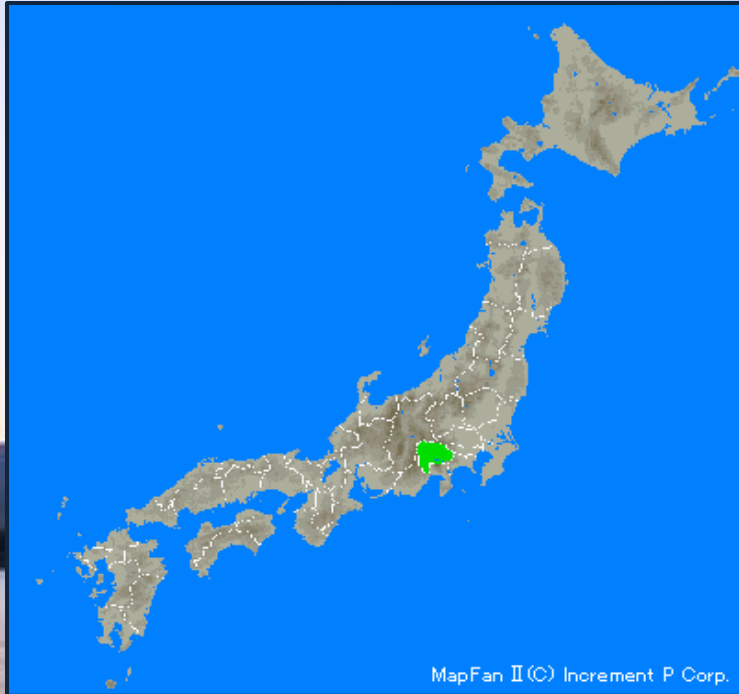
取り組み

- 個別支援事例を通じての具体的な支援の連携
- 県および市の自立支援協議会への参加
- 職能団体、専門職職能団体等への協力要請
- 圏域マネジャー（相談支援体制整備事業）との連携
- 関係機関（県、市町村、免許センター、新聞社、CATV等）への協力要請

高次脳機能障害者支援における課題解決の方向性



山梨県の紹介



面積: 4,465.37km² (県土の78%が森林)

人口: 845,858人 (H25.12.1現在) 331,564世帯

高次脳機能障害者数: 2,500人 (推計 H21年度実態調査)

山梨県では自動車は生活必需品

運転免許保有者と自動車保有台数

